

※ 評価 大変良い…4 良い…3 もう少し…2 改善を要する…1

評価項目	評価指標	具体的手立て	結果の考察・分析及び改善対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1)基礎・基本の確実な定着	①個別最適な学び、複式授業の充実	複式授業を解消するために、3名の担任、専科の職員（市の講師）管理職で教科の分担をし、単式授業ができるようにした。複式授業が充実するために、児童が自分たちで課題をもち学習を進められるように指導（ガイド学習）を重ねてきた。上学年は、ガイド学習が身に付いてきている。「個別最適な学び」を目標に授業改善をしてきたが、まだ研究の成果が現れていない。タブレットの効果的な活用を進めながら、更なる授業改善を進める必要がある。	2.5	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観で見る複式を単式授業にしての職員の真摯な熱のある姿勢が素晴らしい。自己評価は少し厳しいと思います。 先生方のいろいろな工夫で単式授業が行われている事が分かりました。又複式も充実していてとても良いと思います。 いろいろな取り組みをされていることは評価できると思います。
		②「串間学力調査の平均点」市平均以上	結果はまだ出ていないが、学力テストに向けて、授業や学力向上の時間（あおしおタイム、毎週金曜日13：55～14：15）の中で定着を図り、基礎・基本の問題の定着の徹底と授業中に習熟をさせる時間の確保を行ってきた。また、学力テストの過去の問題の傾向を踏まえ、活用問題、応用問題への対策を講じてきた。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上への取り組みの努力が伺えます。 応用力の向上が必要だと思います。
		③読書量調査の実施（毎月4冊以上の読書）	5年生は3.2冊で目標が達成されなかったが他の学年は月に4冊以上本を借りている。実際には、市立図書館の本を学級文庫として教室に置いているので、日常的に読んでいる様子は見られる。多読賞の表彰や児童の図書委員会の取組も読書の意欲につながっている。図書館の本がもっと充実すると児童の意欲が上がると考えられる。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 高学年の3.2冊は、目標以下で残念です。もう少しの努力が必要ですね。このことは、アンケート結果で見られるように児童並びに保護者の評価がやや低い。学校のみならず家庭での「読書の習慣づけ」指導が必要ではないでしょうか。 ゲームの時間が長いのではないのでしょうか。
	(2)学ぶ意欲の育成	①立腰の徹底	書く時や、タブレットを長時間使用するとき姿勢が乱れがちである。背筋が曲がっていたり床に足がついてなかったりする姿が見られる。児童も保護者も教師も評価が低い。立腰の意義について指導し児童自らが意識して姿勢を正すことができるように、さらに指導を続けていく。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 難しい課題と感じますが、その都度注意して修正・改善するのを感じます。特に、我々大人にも同様ですが、タブレット等で夢中になるとつい姿勢が悪くなります。周りの声かけ、注意が必要かと感じます。 子どものうちに正しい姿勢を身につけることは重要です。更なる指導をお願いします。 家庭での指導が大事だと思います。
		②家庭学習の定着	各学年とも担任が工夫して取り組ませた。ほとんどの児童において、家庭学習の習慣が身に付いている。今後も学習したことを家庭で習熟できるように工夫して取り組ませていく。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた家庭学習が出来ている様です。 自己評価が100%は素晴らしい。学習したことを家庭で習熟出来るよう工夫して取り組んでいる成果が顕著です。
		③新聞等メディアへの積極的投稿	新聞に作文を積極的に投稿することで表現力の向上や書く力への意欲付けを行ってきた。中学年は、全員が新聞に掲載された。また本年度新聞掲載数は32作品であった	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 32作の新聞掲載は素晴らしいです。また、内容も素晴らしいものが多いようです。 作文を書くことの喜びが伝わります。 中学年全員掲載はすばらしい。いつも楽しみにしています。 いつも新聞を楽しく見えています。文章力があります。

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
2 心の教育	(1) 望ましい人間関係の育成	①いじめアンケートと教育相談の実施	毎月、「悩みにアンケート」を実施し、児童の悩み、いじめの早期発見に努めた。本年度は、アンケートの記入を自宅で行わせ、保護者の意見も聞くことができた（1回）。今後も児童が相談しやすい方法を取り、いじめの早期発見に努める。毎月アンケートの内容について全職員で共有し、些細なこともいじめと認知して対応を協議し、児童が安心して生活ができる体制をとってきた。全児童に対して年間3回の教育相談を行い、担任と児童が話せる時間を設け、悩みの解決に力を入れてきた。それぞれの悩みについては、3か月見守り解消されていることを見届けている。	3.5	4	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題は早期発見・対応が、全てと思われず。今後もこまめな目配り気配りで大きな問題の発生阻止をお願いします。 早期発見の努力がアンケート結果から見えます。 本城小学校の特筆すべき点は何かと問われれば「いじめがない」だと私は思っています。表面化しただけだとならぬ「ささいな」手立ても講じていると常日頃感じています。これからも、このよき伝統を継続されますよう。 大変なことですが今後も取り組みを続けて下さい。
		②あいさつ、言語環境の整備	児童は96%、保護者は65%、職員は67%という結果が出ている。児童は自己評価が高いが保護者と職員との差が大きい。今後は、相手を意識した言葉遣いができるようにソーシャルスキルを磨く手立てをとる必要がある。	2	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全街頭指導や千野棒おどり時に、多くの児童と接しているが、元気のいい挨拶を受けています。ただ、引込み事案の児童が多いのかもしれないね。気長に指導しましょう。 児童から進んであいさつができる環境づくりを心掛けたいですね。
		③道徳の授業の充実	授業の中で、児童の実態に合ったテーマに沿って、考え議論させることに重点をおき毎週1時間、計画的に授業を行った。また、全学年授業参観で保護者に観ていただくことや学級通信で授業内容を紹介することで、保護者への啓発も行ってきた。児童は自分の考えを話したりや友達のことを聞いたりすることで日常生活に生かしている様子が見られる。今後も道徳の時間と日常生活をつながげながら計画的に指導をしていく。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 児童の事態に合ったテーマで、一人ひとりが授業に参加していると思える環境づくりは、授業が面白くなる非常によい取り組みと考えます。授業参観や学級通信での保護者啓発も、学校と保護者が連携できる非常に良い施策と思える。 保護者への啓発が十分にできているようです。 短時間での道徳授業を参観しましたが、きちんととらえている印象を受けました。学力も大切ですが、心の教育も人としての基本の学びなので大切なことです。
	(2) 校内の美化や整理整頓	①無言清掃の徹底	教員の評価は71%とやや低い。児童の中には、熱心に取り組む児童と適当に取り組む児童も見受けられ、一緒に清掃をしながら指導を続けてきた。「自分たちの学校をきれいにしよう」という気持ちが心からもてる児童の育成をめざしていきたい。特に高学年の児童が率先して清掃に取り組めるよう手立てを講じていく。	2.5	4	<ul style="list-style-type: none"> 無言清掃は、集中力の養成の一環として必要です。色々と工夫されての結果だと思われず。 少ない生徒数で頑張っていると感じます。
		②トイレのスリッパ並べの徹底	保護者へのアンケートでは、100%の評価をいただいた。トイレのスリッパについては校長が毎日、点検を行い、児童に知らせることで、きれいに並んでいる日が多い。4月から12月のまで期間は、スリッパが整頓されていたのは78%であった。一方、体育館のトイレのスリッパは並んでいない時が多いのが現状である。次に使う人への思いやりの心を今後も児童に伝えていく。	2	2.3	<ul style="list-style-type: none"> 学校訪問の際いつも気にかけていますが、いつもきれいです。次使用する人の使い易さを考えること、「次使う人は、お客さん」の気持ちが大切です。 余裕をもってトイレを使うようにするといいいのではないのでしょうか。 思いやりの心を安定して行いに示してほしいです。

令和5年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

N O . 3

評価項目	評価指標	具体的手立て	現状（達成状況及び対策）	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
3 体力の向上	(1) 体力作りの推進	①新体力テストで県平均以上52項目	80項目中42項目達成し、達成率は53%という結果であった。昨年度が52%だったので1%上回っている。児童数が少ないため、一人一人の伸びや落ち込みがTスコアに大きく影響しているが、個別の達成状況を見て、分析し支援する必要がある。体育の時間や行間の時間に縄跳びを行うことで運動することの楽しさを味わわせながら、更なる体力向上につなげていく。	2	2.4	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見ると、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げに多くの平均以下が見られる。脚力、腕力に弱みがあるのではないのでしょうか。十分な分析を行い、体力づくりの方法を要検討かと感じます。 ・登校でも歩く事が少なくなっているため運動する時間を少しでも多く行ってください。 ・体力テストだけではなく喜び、楽しさを加味して体力向上に繋げるは重要なことです。
	(2) 望ましい生活習慣と感染予防	①感染予防の徹底	感染症予防のため手洗いの励行も続けてきたが、寒くなるとしっかりと洗っていない傾向がある。また、朝の健康観察時にハンカチ、ティッシュの所持の確認をしているが携行していない児童も多い。今後も徹底できるまで、学級で指導を行う。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策は大変と思われるが、励行をお願いします。なお、本件は学校のみならず、家庭での指導や対応が肝要と考える。 ・家を出るときに保護者が確認と声掛けが必要です。 ・徹底できる目標を一つずつクリアしていることで大きな目標達成に繋がってください。
		②虫歯治療完治率80%以上	虫歯完治・治療率は現在92.8%である。次年度へ向けて100%になるように該当の児童や保護者に進めていく。本年度は、養護教諭と担任が連携し、歯磨き指導に力を入れた。児童自らが、歯の大切さに気づくことができた。	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の歯科病院が少ない中100%はすばらしいです。 ・私共は高齢になるにつれ、歯の不具合が起き、歯の大事さを痛感しています。是非歯の大切さ、手入れの大切さを教えていただきたい。
	(3) 食育の充実	①早寝・早起き・朝ごはんの推進（児童の意識調査95%以上）	三者とも80%以上の評価であった。早寝については、様々なゲームが普及しており、学校だけでは指導の限界がある。家庭と協力し、児童のためにしっかりとしたルールを決め、メディアコントロールの力を身に付けさせたい。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者アンケートの結果では80%と昨年より向上しているようです。学校と家庭との協力で継続することを願います。 ・夜が遅いどうしても早起きが難しいのでまず保護者の努力が必要です。
		②弁当の日の実施（調理関わり率95%以上）	児童の関わり率の自己評価は86%となり保護者や教員よりやや低い結果である。しかし、2回の弁当の日の取り組みは100%であった。取り組んだ内容の差はあるが、何らかの形で調理に関わったことは高く評価したい。家庭の協力があつたので、達成できた。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と保護者の連携が必要と感じます。 ・昨年66%からかなり改善されました。評価は4で妥当でしょう。 ・100%はすばらしい。 ・子供のころから料理に取り組むことが大切です。
4 その他	(1) 地域との連携	①地域との連携・外部人材の活用	本年度も、学校行事において地域の方にたくさんの協力をしていただき、充実した教育活動を行うことができた。また、市長や学校関係者評価委員の方、自衛隊の方にも授業を参観していただくことができ、本校の実態を知っていただく良い機会となった。年間3回の上籾原保育園との交流も毎年続いている。中学年は、串間市役所の職員の方と一緒に水質調査を行ったり、河野幸さんに本城の生き物についてお話をいただいたりし理解を深めることができた。今後も地域の人材や資源を教育に活かし本城小ならではの教育を進めていきたい。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民とのつながりは非常によく、またいろいろな職種の人たちとの接触が勧められ非常に良いと思われます。 ・本城っ子は地域にしっかりとけこんでいると思います。 ・本城地区にも多彩な人材がいます。情報を集めて活用をしてください。 ・本城の地域のみなさんは結束が強くてすばらしいです。児童や先生方も、地域の催し等に参加が増えると相乗効果ももっと良くなりそうですね。
	(2) 情報発信	②積極的な情報の発信	学校だよりの発行、ホームページの更新など計画的に行ってきた。ホームページについては、記事を充実させ、今後の閲覧数が増えるように宣伝していきたい。また、児童にもホームページのことを知らせていく。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの発行で地域住民の学校の状況がよくわかります。少人数の学校故地域との連携は必要と感じます。今後もよろしく願います。 ・保護者が学校のホームページを積極的に見て欲しい。